

のびのび～みんなが笑顔の学校～



<教育目標>

自ら考え判断し、豊かな心でたくましく生きぬく子どもの育成

『やさしい子』『考える子』『たくましい子』

発行:令和2年12月1日 発行責任者:校長 善方 威浩

いよいよ12月、2学期のしめくりです。

記録的な温かさとなった11月下旬でしたが、その後、季節は確かに冬に向かって進んでいるようです。

例年より早く始まった2学期ですが、もう、しめくりを迎えます。新型コロナウイルスの感染防止のため、学校の行事だけではなくPTAの行事等においても、期日や内容の変更・中止とさせていただいたものが多くありました。

今、学校では、次年度の「教育課程」の編成にとりかかっています。今後の新型コロナウイルス感染症の状況が読めないところはありますが、これからは「新型コロナウイルス感染防止と教育活動の両立」を図る必要があります。それらのどちらかが「0」でどちらかが「100」、というような考えではなく、バランスを取りながら、「どうしたら両立できるか」に知恵を絞ることが重要です。

これまで、その都度、ご理解をいただくことができるよう努めてきたつもりではありますが、配慮や説明の足りなかつたところもあったかと思えます。皆様の建設的なご意見をいただきながら、この「両立」を目指して次年度の計画を作成していきたいと思えますので、どうぞご協力をお願いいたします。

冬休みの期間が例年より短くなります

須賀川市の小・中学校では、年度初めの臨時休業で実施できなかった授業時数の確保のために、「冬休み」の期間がいつもより短くなります。

なお、今のところ、卒業式は例年どおり3月23日(火)に実施、その後の「年度末・年度始休業日(春休み)」も例年同様の予定です。

第2学期終業式	12月25日(金)
冬休み	12月26日(土)～1月4日(月)の10日間
第3学期始業式	1月5日(火)



インフルエンザの流行に備えて

例年ですと、インフルエンザの流行に関するニュースが聞こえてくる時季となりました。今年も、新型コロナウイルスへのこれまでの対応に加えて、インフルエンザの本格的な流行への備えも必要です。先日、これについての文書を保護者の皆様に配付いたしましたが、改めてお願いいたします。

- (1) うがいや手洗い、マスクの着用を、これまで以上に徹底します。予備のマスクの準備をお願いします。
- (2) 学校での児童の発熱や体調不良の場合は、原則として早退させることとします。
- (3) 校内での流行の状況により、下校時刻の繰り上げや学級・学年閉鎖、行事等の延期や中止を検討します。緊急の場合は、一斉メール等で連絡いたします。
- (4) インフルエンザと診断された場合は「出席停止」となります。停止期間は法令により定められていますので、「もう元気になったから」と、この期間を短縮することはできません。(下記は、2日目に解熱した場合の例です)

(例)	0日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	発症 (発熱等)		解熱				登校可
		←	出席停止期間	→			
* 解熱が遅れた場合は、その後2日をおいて登校可となりますので、停止期間が延びることがあります。							

「授業力」の向上を目指して

教育界には「学び続ける者のみ、人に教える資格がある」という言葉があります。本校でも、日常的な研修の他に、テーマを設けて行う「現職教育」という計画的な研修の機会を設け、全職員で取り組んでいます。

先日は、須賀川市学校教育アドバイザーである、麻布教育研究所長の村瀬公胤(むらせ まさつぐ)様においでいただき、3年生の授業研究会のご指導をいただきました。授業の動画を見ながら、児童一人一人の学びがねらいに向かって成立していたか、児童どうしの学びあいをどのように取り入れていくのか、などを、職員どうしで協議しました。

授業研究の他にも、特別支援教育に関する研修やコンピューターなどのICT機器に関する研修も行い、総合的な「授業力」の向上を目指しています。



3年生「算数科」の授業を全職員で参観しました



放課後に「研究協議」を行いました